

7月29日ISO活動の一環として須賀川瓦斯本社の防災訓練を行いました。

今回は、昨年10月の台風19号の被害により本社事務機能を全て2階へ移動し、尚且つ、災害対策として導入した「非常用発電機」および「LPGガス発電機」の操作手順を訓練に織り込み、本格的に水害対策を意識した内容で進めました。それにより、参加者は本社の役員および社員に加え、LPG供給センター・油槽所・ボンネット・カーブス等多数の参加者があり、より有意義なものとなりました。始めに社長・専務より挨拶があり、その後青木常務・斎藤常務から実施内容の説明があり訓練がスタートしました。

主な訓練内容――①心肺蘇生(AED操作) ②火災対応 ③地震対応 ④不審者対応 ⑤水害対策

◇ 社長・専務より挨拶(主旨説明)



◇ 訓練内容の説明(斎藤常務)



1-1 心肺蘇生訓練(心臓マッサージ)



1-2 心肺蘇生訓練(AED操作)



2-1 火災対応(初期消火訓練)



2-2 火災対応(重要書類の持ち出し)



3-1 地震対応訓練（対策の指示）



3-2 地震対応訓練（顧客へ電話連絡）



4-1 不審者対応（基本対応）



4-2 不審者対応（非常用ボタンの操作）



5-1 水害対策訓練（非常用発電機の操作）



5-2 水害対策訓練（LPガス発電機の操作）



5-3 水害対策訓練（発電機の表示確認）



5-4 水害対策訓練（分電盤内の操作）



5-5 水害対策訓練（ブルーシート張り）



5-6 水害対策訓練（ブルーシート張り）



5-7 水害対策訓練（シャッター補強）



5-8 水害対策訓練（水中ポンプ操作）



◇ 社長より総評



◇ 専務より総評

